

横山式シンプル・キャッシュフロー計算書で キャッシュの増減理由をつかむ

～ 利益が出ているのに なぜキャッシュが減るのか？ ～

企業経営において最も重要なのは「利益」ではなく「キャッシュ」ですが、損益計算書（PL）の「利益」だけで経営判断を行なっている方が多いのも事実です。

しかし、利益が出ているのにキャッシュが減っているような場合、損益計算書（PL）だけ見てもその原因はつかめませんし、原因がわからなければ、キャッシュの流出を止めることもできません。

このような時、キャッシュフロー計算書（CF計算書）が必要となるのですが、初心者にとっては、かなりハードルが高いもの・・・。

そこで、パソコンがなくても、電卓だけで簡単に作れる『横山式シンプル・キャッシュフロー計算書』のノウハウを伝授していただくセミナーを、昨年引き続き開催いたします。

「自社のキャッシュフロー計算書（CF計算書）を見たことがない」という経営者の方も、この機会にご参加下さい。（当日は電卓をご持参下さい）

開催要領

日 時 平成30年9月19日（水） 13：30～16：00

場 所 北海道経済センター 8階Aホール（札幌市中央区北1条西2丁目）

講 師 横 山 悟 一 氏 財務リスク研究所(株) 代表取締役

受講料 会員 3,000円 非会員 5,000円
※受講料は当日会場で申し受けいたします。
※無料受講券をご利用の方は当日ご持参ください。

定 員 各法人会40名
（定員になりましたら、お断りの連絡をさせていただきます。）

申込方法 裏面の受講申込書に記入の上、各法人会事務局へFAXにてお申込みください。
(公社)札幌中法人会 FAX 011-221-5107 TEL 011-221-5087
(公社)札幌西法人会 FAX 011-241-3216 TEL 011-231-0763
(公社)札幌北法人会 FAX 011-709-8830 TEL 011-709-8802
(公社)札幌東法人会 FAX 011-802-6745 TEL 011-802-6744
(公社)札幌南法人会 FAX 011-241-3218 TEL 011-251-7863

（裏面もご覧ください。）

講演内容

- I. キャッシュフロー計算書とは？
- II. キャッシュフロー計算書の構造
- III. 横山式シンプル・キャッシュフロー計算書とは？
- IV. 事例演習
利益が出ているのにキャッシュが減ってしまった理由を探る
- V. 金融機関は「キャッシュフロー計算書」のここを見る！

講師 横山 悟一 氏 (よこやま ごいち)

財務リスク研究所(株) 代表取締役

1969年茨城県生まれ。茨城県立太田第一高等学校、法政大学卒業。会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を『財務リスク研究所』に変更。約10年にわたる研究を重ね、指標を使わない世界初の分析手法「ビジュアル分析」を開発。難解なバランスシートをわかりやすくするだけでなく、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに5,000社を超えている。



〔受講申込書〕

横山式シンプル・キャッシュフロー計算書で キャッシュの増減理由をつかむ

(9月19日(水) 13:30から開催)

会場 北海道経済センタービル8階Aホール (札幌市中央区北1条西2丁目)

この申込書は受講票となりますので、当日ご持参ください。(改めて受講票の発行は致しません。)

会社名		○で囲む	法人会員 ・ 非会員
住所		T E L	
		F A X	
参加者名			

お願い ※申し込み後、受講できなくなった場合は、事務局へご連絡ください。
※会場には駐車場がありませんので、公共の交通機関をご利用してください。